

2022年1月23日 NO.57-4

《開会 午前10時30分》		— 礼拝式順序 —	
※は一同ご起立下さい。		司式	吉田謙牧師
		奏楽	K兄弟
前 奏			
礼拝への招き	詩編 68編 20節, 21節		
挨拶			
※賛美	詩編歌 121 (1)		
祈 禱			
罪の告白			
静 思			
赦しの宣言			
平和のしるし			— 神の招き —
照明の祈り			
聖書朗読	ヨハネによる福音書 11章 1節～16節 (新約188頁)		
説 教	「死で終わらない命」		
祈 禱		吉田謙牧師	
静 思			— 神の言葉 —
※賛美	327 (1) (讃美歌21)		
信仰告白	ウエストミンスター小教理問答 問37 (週報裏面)		
十 戒			
献 金	<u>K姉妹</u> ・K兄弟・K姉妹		
執り成し		吉田謙牧師	
主の祈り	(週報裏面)		— 感謝の応答 —
※頌 栄	28 (讃美歌21)		
※祝福と派遣	吉田謙牧師		
※アーメン三唱	40-5 (讃美歌21)		
報 告	礼拝当番 N執事・G姉妹		— 派 遣 —

※体調のすぐれない方は座席についたままで礼拝にご参加ください。

《罪の告白と赦し》

罪の告白への招き

司式 罪人である私たちを、神様はなお憐れみをもって招いておられます。
ですから、今、私たちは、神様の御前に入るにあたって、
自らの罪を、へりくだりと信仰をもって、神様に正直に告白いたしましょう。

罪の告白

司式 一同で罪の告白をいたします。
一同 憐れみ深い父なる神よ。私たちは告白します。
私たちは、あなたを思いから遠ざけ、あなたから隠れようとしていました。
あなたの戒めではなく、自分の思いに従っていたからです。
またあなたから隠れることのできる場所がこの地上にある、
と愚かにも考えていたことを告白します。
自分を中心に考え、自分自身のために生き、
隣人の必要から離れ、隣人の痛みを無視し、
困っている人、貧しい人、傷ついている人の側^{そば}を通り過ぎてしまいました。
どうか、あなたの大きな憐れみによって私たちの罪を赦し、
利己的な思いから解放してください。
欲望を満たす自分好みの道ではなく、
まずあなたの戒めに従うことができますように。

司式 しばらく目を閉じて、一週間の歩みを振り返り、それぞれ犯した罪を思い起こしましょう。そして、その罪を心から悔い改め、その赦しを神様に願い求めたいと思います。しばらく心静まる時間を持ちます。（40秒）

赦しの宣言

司式 良き知らせを聞きなさい。「キリスト・イエスは、罪人を救うために世に来られた、という言葉は真実であり、そのまま受け入れるに値します。」（テモテ1:15）。
「キリストは十字架にかかって、自らその身にわたしたちの罪を担ってくださいました。」（ペトロ2:24）。それゆえに、私はイエス・キリストの御名によってあなたがたに宣言します。「あなたの罪は赦された」（ルカ5:20）。
「安心して行きなさい」（マルコ5:34）。

一同 アーメン。

平和のしるし

司式 神がキリストにあって私たちを赦してくださいました。
私たちも互いに赦しあいましょう。
主イエス・キリストの平和があなたがたと共にありますように。

一同 アーメン。

今日の集会

- ◇教会学校(オンライン併用) 9:30~10:15
 〈司会〉 U先生
 〈お話〉 A神学生
- ◇成人学級 10:00~10:20
- ◇奉仕前祈祷会 10:20~
- ◇臨時小会 礼拝後

《前週統計》

祈祷会・求道者会・教会学校はネット併用で開催

2022/1/16		男性	女性	男児	女児	合計	
集	礼拝	12	23	3	6	44	
	祈祷会	1	0	0	0	1	
	求道者会	1(4)	0(8)	0	0	1(12)	
	オリキッズ	—	—	—	—	—	
会	礼拝の恵み	—	—	/	/	—	
	統	成人科	5	9	/	/	14
		幼稚科	3	4	1	2	3
		小学生	/	/	1	0	1
		中高生	/	/	1	0	1
計	献金	礼拝		34,600			
	教会学校			2,500			

今週の集会

- ◇祈祷会 1月26日(水) 午前10時30分～ オンライン併用 詩編の学び
- ◇相談日 1月26日(水) 午後2時～5時 牧師相談日
- ◇求道者会 1月27日(木) 午前10時30分～ オンライン併用 (家庭集会和合流)

次週の集会 (1/30)

- ◇教会学校 〈司会〉 M先生
 (ネット) 〈お話〉 U先生
- ◇成人学級 〈担当〉 吉田謙牧師 午前10時～10時20分
- ◇礼拝 〈説教〉 吉田謙牧師「私は復活であり、命である」
 〈聖書〉 ヨハネによる福音書 11章 17節～27節
 〈旧約聖書〉 簡易礼拝のため省略
 〈新約聖書〉 簡易礼拝のため省略
 〈讃美歌〉 詩編歌 121・111 (21)・29 (21)
 〈司式〉 吉田謙牧師 〈奏楽〉 K姉妹
 〈献金〉 K兄弟・K姉妹・K姉妹
 〈礼拝当番〉 N執事・G姉妹
- ◇定期会員総会 礼拝後

お知らせ

- ◇1月30日(日) 礼拝後に定期会員総会を開催します。昨年の活動報告と決算報告、及び今年の活動計画と予算の審議、任期満了の長老・執事の選挙などが予定されています。コロナ禍にあるため、報告はできるだけ短くすませ、短時間で終了するよう配慮します。会員の方は、配付される予定の年報をよく読んで、是非ご出席ください。会員総会は、現任陪餐会員の三分の一の出席がないと成立しません。ご協力よろしくお願ひします。なお長老・執事選挙はノミネート方式で行います。任期満了の長老・執事の他に推薦したい方がおられましたら小会メンバーまでお知らせ下さい。
 - ◇礼拝に出席する際には必ずマスクを着用し、一階でアルコール消毒をして下さい。また密集を避けるため基本的には一つの机に二人ずつ座るようにして下さい(家族は例外)。
 - ◇ラジオ伝道番組「キリストへの時間」(ラジオ関西 558KHz 日曜日午前7時30分～45分)を聞きましょう。1月30日放送予定：E長老(伊丹教会)「朽ちない冠」
 - ◇掲示板
 - *坂尾連太郎先生ご夫妻より年賀状が届いています。
 - *西部中会中高生会zoomミーティング「FOR TOU」の案内が届いています。
- 日時：1月28日(金)午後8時～9時 メッセンジャー：國安光先生 ZOOM ID：366 621 8858

* 西部中会 世と教会に関する委員会より 2. 1 1 集会の案内が届いています。
日時：2月11日(金) 午前10時～12時 講師：松谷曄介先生（金城学院大学宗教主事）
講演「恐れからの自由－香港と中国大陸のキリスト者の信仰の証しに学ぶ」

オンライン併用 → <https://youtu.be/ByEisMs1tI>



1月の祈禱課題

- ①新しい年の歩みのために。
- ②会員総会のために。
- ③闘病中の方々を覚えて。
- ④愛する者を天に送り、悲しみの中にあるご遺族のために。
- ⑤結婚された兄弟姉妹のために。
- ⑥川瀬弓弦先生のハンガリー宣教のために。
- ⑦但馬みくに伝道所の新会堂改修工事のために。
- ⑧滋賀摂理教会の牧師に就職された金原堅二先生のために。
- ⑨関西地区伝道協議会のために。
- ⑩神学校のために。
- ⑪求道者の方々を覚えて。
- ⑫川島利子姉妹のために。
- ⑬新型コロナウイルス感染症予防のために。
- ⑭年間教会標語「教会に生きる喜び」
- ⑮豪雨災害、大阪北部地震、北海道地震、熊本地震、東日本大震災の復興のために。
- ⑯滋賀摂理教会・千里山教会・園田教会・神戸長田教会・恵泉教会・板宿教会・南与力町教会のために。
- ⑰1月生まれの方のために。

今月の掃除当番 男子会

【本日の聖書日課のテーマ】「宣教の開始」

旧約聖書 申命記30章11節～15節：御言葉は近くにある
新約聖書 マルコによる福音書1章21節～28節：権威ある教え

主イエスの説教を聴いた人々は、非常に驚きました。カタログや説明書ばかり見せられてきた人たちが、いきなり実物に触れたようなものです。その時、会堂にいた人の多くは、ごく普通の庶民であったと思われそうですが、彼らには本物が分かったのです。驚きの理由を「律法学者のようにではなく、権威ある者としてお教えになったから」とマルコは記しています。これを律法学者が読んだなら激怒したことでしょう。彼らは人一倍「権威」に固執する人たちだったからです。しかし彼らの言う権威とは、世に認められている既成の信用に依拠するものでした。彼らが振り回したのは権威ではなく権力というべきでしょう。権力は人を強いて服従させます。しかし、権威とは人が自然と従いたくなるものです。権威は権力と異なり、外から借りてくるものでなく、内から来るものなのです。

真の権威を猛烈に拒絶する者がそこにいました。猛烈な叫び声が響き渡ります。ここで用いられているギリシア語の「アナクラザー」は「（喉の奥から）叫ぶ」と辞書にあります。湖上で弟子たちが主イエスを幽霊だと思い「大声で叫んだ」（マルコ6:49）、またゲラサの墓場で男が「わめきながら」ひれ伏した（ルカ8:28）、といった箇所用例が見いだされます。いずれの箇所にも、強い不安に駆られての興奮が見られるのです。

ノルウェーの画家ムンクの「叫び」を思い起こします。彼はあの絵を自分の体験から描いたそうです。「突然、空が血の赤色に変わった。……友人は歩き続けたが、私はそこに立ち尽くしたまま不安に震えおののいていた。そして私は、自然を貫く、果てしない叫びを聞いた。」あの奇妙な顔の男は、友人たちが気付かない叫びを聞いて震え、どうしてよいかわからず耳を塞いでいるのです。

主イエスは「叫び」を聞いた時、どうしたのでしょうか。主イエスは逃げなかった。耳を塞がなかった。そして、権力ではなく（主イエスは権力を一切持たなかった）、内にある神の権威をもって、「黙れ。この人から出て行け」と、彼を苦しめる悪しき力に対峙したのです。「時は満ち、神の国は近づいた」それは、あの叫び声をあげた男においても真実でした。主イエスの命令と共に悪霊の支配が終わり、神の支配が到来したのです。

叫びは今も続いています。主イエスは叫びを聴き取ってください。そして、叫びのうちに苦しんでいる人間がいるのを見てください。そして人を縛って苦しめる諸々の権力を無力化し、神の権威をもって人間を取り戻してください。

ウエストミンスター小教理問答

- 問37 信者は死の時、どんな祝福をキリストから受けるか。
- 答 死の時、信者の靈魂は、全くきよくされ、直ちに栄光に入り、その身体は、なおキリストに結合されていて、復活の時まで墓の中で休む。

十 戒 わたしは主、あなたの神、あなたをエジプトの国、
奴隸の家から導き出した神である。

1. あなたには、わたしをおいてほかに神があってはならない。
2. あなたはいかなる像も造ってはならない。
3. あなたの神、主の名をみだりに唱えてはならない。
4. 安息日を心に留め、これを聖別せよ。
5. あなたの父母を敬え。
6. 殺してはならない。
7. 姦淫してはならない。
8. 盗んではならない。
9. 隣人に関して偽証してはならない。
10. 隣人の家を欲してはならない。

主の祈り

天にましますわれらの父よ、
ねがわくは、み名をあがめさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らを、こころみにあわせず、悪より救い出したまえ。
国と力と栄えとは、
限りなく、なんじのものなればなり。アーメン。